

印西大師 番外 結縁寺・頼政堂

1 名称 (No.156/276)〔手引鏡：頼政堂〕〔資料館：頼政堂〕〔行程表：頼政堂〕

2 場所 印西市結縁寺352付近 頼政堂

結縁寺から道程約510m

頼政堂北大師堂から道程約60m

GPS座標 35.78761356367198, 140.13699687611512

3 由緒 頼政堂

台仙房359-2にあり、昭和55年に再建（平成6年寺院堂庵明細表）

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。

5 境内 大師堂の奥に頼政堂、その奥に頼政塚がある。

6 写真 (2023.10撮影)



大師堂



御大師様



頼政塚

7 情報

(1) 頼政塚

「頼政塚 治承四年(1180)四月、平家打倒に挑んだ源頼政は挙兵に失取し五月二十五日宇治平等院の境内で自害したといわれています。この頼政の首を埋めた場所と伝えられているのが頼政塚です。頼政は、死に際して家臣に「吾が首を持ち東国へ向かっていけ、吾が止まらんと欲する処に行かば、首な重くなって動かなくなろう。そこに塚を築いて首を葬れ」と遺言したとされており、家臣たちは馬に乗って東国へ向かい急に首が重くなり歩けなくなったところと伝えられています。家臣は住僧となり主の菩提を弔ったといわれています。この塚には糸が供えられています。農作業で手首が痛くなった時に、この糸を巻きつけると不思議に治るといわれています。平成十九年三月 結縁寺世話人会」(現地説明板より)